

(学校番号011) 令和4年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【北浦和小学校】

4月28日		
目標・策		
知識・技能	R3年度全国学力・学習状況調査及びR元年度さいたま市学習状況調査の自校結果より、国語は文章構成、算数は図形領域で1pt向上させることで「知識・技能」を高める。 (R4年度全国学力・学習状況調査の国語・算数・理科の「知識・技能」において全国平均を上回る。)	⇒ 「ドリルパーク」や「スタディサプリ」を授業と連動させて活用し、漢字や計算等の復習だけでなく、下学年の単元の学び直しにも取り組む。また、自主学習等を取り入れながら、個別最適な学びの充実を図る。
思考・判断・表現	R3年度全国学力・学習状況調査及びR元年度さいたま市学習状況調査の自校結果より、記述式の問題で1pt向上させることで「思考・判断・表現」を高める。 (R4年度全国学力・学習状況調査の国語・算数・理科の「思考・判断・表現」において全国平均を上回る。)	⇒ 論理的思考力を育成するため、授業の中に意図的に話し合いの場を設けて学び合いを深める。その手段としてマイルシードのオクリンクやムーブノートを適宜活用するなど、思考や表現の幅を広げる。
主体的に学習に取り組む態度	R4年度全国学力・学習状況調査及びさいたま市学習状況調査「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の質問事項において、肯定的な回答の割合を90%以上にする。	⇒ 全ての授業において、児童とともに必要感のある課題を設定し、解決の見通しをもたせ、自力解決する場を設定する。また、プログラミング学習を充実させ、児童のプログラミングへの関心を高める。

9月1日			
中間期見直し(全国学力・学習状況調査結果分析後)			
知識・技能	変更なし	⇒	変更なし
思考・判断・表現	変更なし	⇒	変更なし
主体的に学習に取り組む態度	変更なし	⇒	変更なし

8月26日	
全国学力・学習状況調査結果・分析	
R4年度全国学力・学習状況調査の「知識・技能」において、R3年度全国学力・学習状況調査の自校結果と比較し、国語の文章構成に関する問題では+14pt、算数の図形領域に関する問題では+16ptであった。国語では、昨年度よりポイントは上がっているが、言葉の特徴や使い方に関する問題(言葉の働き)に課題がみられた。算数では、図形領域に関する問題は概ね理解できており、昨年度よりポイントも上がっている。	
R4年度全国学力・学習状況調査の「思考・判断・表現」において、R3年度全国学力・学習状況調査の自校結果と比較し、国語の記述式の問題形式では+13pt、算数の記述式の問題形式では+5ptであった。国語、算数、理科すべての教科で全国平均を上回っているが、国語では「書くこと」、算数では「変化と関係」、理科では「エネルギーを柱とする領域」に課題がみられた。書かれている内容をしっかりと読み取り、それらを分析・考察し、自分の考えを示すといった学習活動を大切にしていきたい。	
R4年度全国学力・学習状況調査の「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の質問事項において、肯定的な回答の割合は全国平均を上回り、91%であった。また「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」の質問事項においても、肯定的な回答の割合は全国平均を上回り、90%であった。継続できるよう、子ども主体の学びとなるよう授業改善に努める。	

2月〇〇日			
さいたま市学習状況調査結果・分析			
小3		小4	
小5		小6	

2月〇〇日	
成果指標に対する達成状況	評価(※)
知識・技能	
思考・判断・表現	
主体的に学習に取り組む態度	

3月〇〇日	
次年度への課題と改善策	
知識・技能	
思考・判断・表現	
主体的に学習に取り組む態度	

※評価
 A 8割以上(達成) C 4割以上(あと一歩)
 B 6割以上(概ね達成) D 4割未満(不十分)